



本校は、2009年に西日本第1号の国際バカロレア（IB）DP認定を受けた一条校で、生徒はグローバル社会のリーダーを目指し、学内外で様々な活動に取り組みます。

女子サッカー🏆U14香港代表の選手・監督が本校を訪問

女子サッカーU14香港代表の選手・監督が来校し、20日には本校の有志13名と文化交流をし、その後、女子サッカー部の練習にも参加しました。香港の食生活・観光・文化について紹介してもらったり、福笑いや折り鶴を折ったりして交流を深めました。連絡先を交換するなど、今後の交流も楽しみです。



福笑い



本校女子サッカー部と



折り鶴

前日の交流会に続き、平和公園・市内散策の通訳ボランティアに11名の生徒が参加してきました。慰霊碑を案内する際に英語で説明したり市内散策では買い物のサポートをするなど、前日とは違う形での交流ができました。



平和記念公園



市内散策

🏆🏆 高校女子サッカー部🏆6年連続 冬の選手権 出場 🏆🏆



第33回全日本高等学校女子サッカー選手権大会が兵庫県で開催されました。出場は6年連続となります。1回戦はシードで、2回戦からの登場でした。試合は、2-0とリードする場面もありましたが、最終的には同点に追いつかれ、PK戦の末、惜しくも鹿島学園高校に敗れました。高3生にとっては最後の大会となりましたが、後輩たちは、また新たに日本一へのストーリーを引き続き紡いでいってくれるはずです。



≪ 主将：内山 美海さんのコメント ≫

2回戦 VS 鹿島学園高校（茨城）2-2（PK戦 5 VS 6）



冬の選手権は、二回戦敗退という結果になってしまい、とても悔しいです。全国の大舞台で、実力不足を痛感しました。しかしこの一年間、45人で日本一を目指して切磋琢磨してきた時間はとても楽しかったです。これからも、進化し続ける女子サッカー部への応援をよろしくお願いします。



劇団四季★『CATS』🐾 広島公演を中1～高2生徒全員で鑑賞



上野学園ホール

ここ数年恒例となっている劇団四季の舞台を鑑賞してきました。昨年の『クレイジー・フォー・ユー』に続く、今回の演目は『CATS』でした。

≪ 上田 知奈さん（高2）の感想 ≫

生で見ると予想をはるかに超えてくるパフォーマンスで衝撃を受けました。大がかりなのに緻密なステージセットや、心を揺さぶられる壮大な音楽、そして何よりパフォーマーの洗練された演技にずっと目が釘付けでした。芸術鑑賞を通して、多くの人が力を合わせてひとつの作品をつくるということに改めて感動と尊敬の念を覚えました。前列に座っていて、エンディングで出演者とハイタッチできたのも特別な思い出です。



《全国で7校》朝日新聞主催★プロフェッサー・ビジット開催



早稲田大学
商学部 教授
清水 洋先生



昨年に引き続き全国で7校の内の1校として本校が選ばれ、プロフェッサー・ビジットが開催されました。中3～高2の生徒が講義を聞きました。講義テーマは「イノベーションとは何か?」でした。生徒たちも、現代の私達の生活が、過去のあらゆる分野の技術革新の上に成り立っていることを改めて感じ、イノベーションが身近にあることがわかったようです。ご講義ありがとうございました。



質疑応答の様子



《プロフェッサー・ビジットとは?》

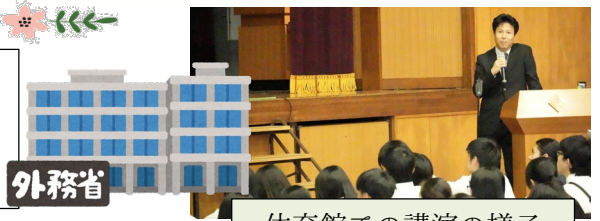
大学の先生が、全国各地の高校を訪問し、研究内容などをわかりやすく紹介する出張講義です。講義時間は75～90分程度が基本です。本校は、過去にも2017年に横浜市立大学の田栗先生、昨年は、慶應義塾大学の遠藤先生にご講義いただいておりますので、今回が3回目の開催となりました。



各種講演会★セミナー★ワークショップなどを定期的開催

《外務省職員 永奥氏のご講演》

外務省アジア大洋州局北東アジア第二課より、永奥真治様をお招きして、ご講演頂きました。刻々と変化する世界情勢の中で、日本の外務省が果たしている役割や、外交官という仕事について、併せてご自身の進路選択などについてもお話いただきました。



体育館での講演の様子

外務省

《アクサ生命金融セミナー》



出前授業の様子

広島FMのイベントの一貫で、アクサ生命のファイナンシャルプランナーの方に講師としてお越しいただき、ライフマネジメントと金融に関するワークショップを開催していただきました。将来、自分がどのような人生を歩むかを想像しながら、その間に必要なお金がどのくらいか、仕事での収入以外に金融資産を増やすためには、どのように投資を計画していくのか、などをお話いただきました。



《広島大学 田代教授のご講演》

広島大学原爆放射線医科学研究所教授の田代聡様に、原爆放射線医科学研究所での原爆や医療被ばくの影響の研究、原発事故の対応、IAEAとの連携や最新の顕微鏡や画像解析技術を用いた研究の成果についてご講演いただきました。



田代教授の講演の様子

第63回全国高等学校生徒英作文コンテスト★最優秀賞受賞

《このコンテストの紹介》

全国の中学高校の英語教員約6万人を会員とする全国英語教育研究団体連合会（全英連）が主催するコンテストです。高校生の英語力の向上をはかり英語による発表能力を高めるために、昭和37年から文部科学省その他関係方面からの後援を得て、実施されています。一次、二次審査を通して最優秀賞が1編、優秀賞が5編、優良賞が10編、そのほか100編ほどが入選となります。タイトルに従って全国の高校生が英語による自己表現に磨きをかけて場です。



高3大原亜美さんが全国の高校生の多数の応募者の中から、高2・3年の部で、最優秀賞である「文部科学大臣賞」を受賞しました。今年の課題作文タイトルは、「Why do I study English in the age of AI?」でした。

文部科学省

《2024年11月実施 国際バカロレア(IB)DP 世界共通最終試験 結果》

- ・AIC IBディプロマコース21名合格・学内合格平均スコア34.24（世界合格平均スコア29.2点）
- ・学内最高点42点が2名（45点満点）・数学AA（HL）6名が7点満点を取得

